日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

長泉麗峰山の会 (sine１９９４)

第２９期・１２巻　　２０２４年　　３月号　　NO. 270

仲間と仲間を結ぶ機関誌

れいほう

Nagaizumi Reihou Alpine Club

雪の記憶

山行ＮＯ．２０３０
２０２４．０２．１４
会創立３０周年記念登山
浅間山・剣ヶ峰

2024年度・03月度例会資料　　2024/03/02

１．報告・当面の予定

01/17（水）会　大平山（30周年下見）　　後藤、加藤

/19（金）～20（土）30周年記念山行　西天狗・西尾根　　後藤、加藤、勝又、山田敬、北村

/27（土）会　富士山・二ッ塚（雪見ハイキング）　後藤、加藤、井上、伊藤、斎藤

/28（日）個　達磨山レストハウス～金冠山～河内スギ往復　　北村、ほか１名

/31（水）個　富士山・二ッ塚　　加藤、植松

02/02（金）～3（土）会　横岳・杣添尾根　　後藤、加藤、勝又、井上、山田、北村＝6名

10（土）個　丹沢・大倉～蛭ヶ岳往復　　北村＝1名

13（火）～14（水）個　浅間山・剣ヶ峰ヒサシゴーロ尾根　　後藤、加藤＝2名

18（日）会　30周年記念登山　巣雲山　後藤、加藤、勝又、伊藤、山田敬、山田由、斎藤、北村、松永＝9名＋9名

２．会報とピックアップ

「あさぎり」　あさぎり山の会　　２月号　　NO.36３　　P39　　電子版

報告＝兜山、竜爪山・薬師岳、八ッ・西岳、県連・大丸山、下田富士など、栃木・地底の迷宮（大谷石採掘遺跡）、八方尾根・丸山、豊田市・猿投山、宝永山・第一火口入口、ほか登山計画、掲示板など。

「甲斐峰」　山梨山の会　　２月号　　NO,321　　P14　　電子版

運営委員会・山行部・事務局報告、座学シリーズ「登山と健康」、リレーエッセイ「農業と山のある暮らし」、報告＝陣馬山、藤野駅から鷹取山、八方・丸山、竜ヶ岳（干支の山）、村山古道「修験者は何故山頂を目指すのか」、甲府北山・大日影山。山行状況。山行予定。会報えつらん「長泉麗峰・１月号」

「ハイキングだより」　新潟・みちぐさハイキングクラブ　２月号　　NO.352　　P12　　電子版

新春顔合わせ＝大力山（一度上りたい山）、アルプス日記・マッターホルン、モンブラン眺望、弥彦山・多宝山、ほか

山行ブログ・・・ https://mitigusahc.fc2.net/

「くろゆり」　三島勤労者山岳会　２月号　　NO.528　　P　　電子版

報告＝県連交流ハイク・大丸山、石尊山、破風山、運営委員会議事録、山行計画、山行実績など・・・久しぶりの配信でした。

2/18 巣雲山（北村）

第５７期（２０２３年度）第５回理事会　　2024 年 1 月 21 日

於　長田生涯学習センター

伊豆ＨＣ労山会員Ｇ（野口潤資）	0	清水労山（千葉洋己）	欠	山登歩（花澤秀治）	0
（荻野さん）	0	静岡労山（原田信義）	0	（周防紀一郎）	0
三島労山（平野悟）	0	（森下栄治）	0	ＮＭＣ（海野美春）	0
裾野麗峰・ふじ山楽歩（加藤秀子）	0	安倍っ子（竹本幸造）	0	（森　英代）	0
沼津労山（大村　忠義）	0	（村山俊一）	0	浜松労山（後藤秀人）	0
あさぎり（富永政則）	0	焼津山の会（山崎勝治）	0	フレンズ（小平悟一）	0

１　各ブロックからの報告

東部ブロック・・・なし

中部ブロック・・・１月１２日ブロック会議　　交流ハイクと雪山ハイクについて

２　各専門部からの報告

組織部・・・・なし

教育遭対部・・・冬山山行報告の結果報告

自然保護部　・・・なし

３　県連関係

交流ハイク（１月１４日）・・・大丸山で１３団体７７名参加。来年は小笠山。

県連総会・・・３月３日（日）９：３０受付　長田生涯学習センター

来年度の安全登山講習会について…時期は６月３０日　場所と講師にあたってから

清水労山の件について（経過報告）・・全体で脱退しなければならない理由は何か？会計？保険？

清水労山会長あてに理事会の意見を郵送

県連役員について・・・依頼した方はそれぞれ事情があり無理。今後理事が出たところで検討。

あと１年ということで、理事長を継続。事務局長も継続で。

４　全国連盟関係

全国連盟総会・・・２月１７，１８日（府中市　ホテルコンチネンタル）２名

２名（海野）・・あと１名については、三島労山の高良さんが土曜日のみ参加で報告

能登半島地震の救援募金等に関して

＊全国ハイキング交流集会・・・２０２４年１０月５～６日　　静県連で受ける

５０名で役員含め７０名くらい宿泊できるところで

５　議案書　会計　検討

原稿集約・来週初め位には印刷所へ→２週間後くらいで完成　→各ブロック配布→各会へ配布

６　その他　連絡など

・平出和也、中島健郎講演会　　２ 月 10 日（土）13:30(13:00 受付開始)16:45 終了予定

・２月１８日（日)、長泉麗峰山の会創立３０周年記念山行　宇佐美・巣雲山

・総会準備　代議員、理事選出など各会でお願いします。当日会場準備、受付などのご協力を！

以上

切り抜き帳

静岡新聞から転載

静岡新聞　令和6年（2024年）2月2日（金曜日）

導入消防ヘリ 川重製

静岡市方針 高山での活動 重視

静岡市は新しい消防ヘリとして川崎重工業製の中型双発機「BK117D−3」（D−3）を導入する方針を固めた。1日までの関係者への取材で分かった。8日開会予定の市議会2月定例会に関連議案を提出する。

関係者によると、市消防局が2023年12月、3千㍍級の高山岳帯である南アルプスを管内に持つことを踏まえ、3200㍍の高度でも救助活動を安定して行うことができることなどを条件に一般競争入札を行い、複数の応札の中からD−3を提案した川崎重工業が落札した。

同社のホームページによると、D−3は最大定員12人、航続距離722㌔、航続時間3時間52分。現行の静岡市の消防ヘリ「ベル式412EP」（カナダ製）と比較して定員は3人少なくなるものの、エンジン出力が上がることで高高度でのホバリング性能が向上し、航続距離や航続時間も伸びる。

D−3は、国内では福岡市消防局が23年10月に運航開始し、茨城県も21年に消防・防災用として購入した。警察機や報道機としても運用されている。

静岡市は現行の消防ヘリを07年度に導入した。稼働20年を迎える26年3月までの更新を目指し、23年の市議会9月定例会で購入費として30億円の債務負担行為を設定する議案を提出し、可決されていた。

（政治部・尾原崇也）

静岡市が消防ヘリとして導入する方針を固めた「BK117D−3」と同機種の福岡市消防局のヘリ　（同局提供）

科学する人

生きた火山に魅せられて

山梨県富士山科学研究所長
藤井敏嗣さん ㊤

富士山頂＝2023年10月

日本は活火山が111ある火山大国だ。多くの観光客が訪れる国内最高峰、富士山もその一つ。麓にある山梨県富士山科学研究所（富士吉田市）は過去の噴火を研究し、防災対策に生かす取り組みを続けている。所長を務めるのは藤井敏嗣さん（77）。「火山に対する私たちの理解はまだまだ足りない。日頃の備えが不可欠だ」と話す。

1970年9月に発生した秋田駒ケ岳の噴火が忘れられない。「初めて生きた火山を間近で目にした。花火のように噴き上がる真っ赤なマグマや、火口の縁から流れ出る溶岩を見ていると気持ちが高ぶった」

火口までの距離は数百㍍。飛んできた噴石を持ち帰ろうと、着ていたパーカを脱いで石をくるんだ。高温で焼けてパーカは台無しになった。

少年時代は昆虫採集やラジオの自作にはまっていた。理科系に興味があったが、火山には特に関心は無かったという。

66年、東京大理学部に入学。3年生からの専門分野を絞り込む際、米アポロ計画で宇宙飛行士が持ち帰った月の石を分析する予定だった教授が、学生の理解そっちのけで月やマグマについて熱く語り続ける姿に好奇心をかき立てられた。進路をマグマ研究に定めた。

そして大学院に進んだ年、秋田での体験で完全に火山の魅力に取りつかれた。各地の火山を調査する日々が始まった。

ふじい・としつぐ　1946年福岡県出身。75年東京大大学院博士課程修了。火山噴火予知連絡会長などを経て現職。

山梨県 富士山通行料2000円

混雑回避 今夏から義務化へ

山梨県の長崎幸太郎知事は1日の記者会見で、今夏の富士登山シーズンから同県側の登山道「吉田ルート」で、通行料2千円の徴収を義務化する方針を表明した。混雑回避や、噴火時のシェルター整備といった安全対策のための経費に充てる考え。長崎氏は「過度な混雑が生じており、登山者の抑制は喫緊の課題だ。安全確保を図る」と理解を求めた。

現在、任意で原則千円としている保全協力金とは別に支払いを求める方針で、条例案を2月の県議会に提出する。1人当たりの負担が最大3千円となるため、山小屋関係者らからは徴収額が「高すぎる」との声も上がっている。

県によると、通行料収入は基金として積み立てる。夜通し歩く「弾丸登山」を防ぐため、5合目にゲートを設けて午後4時～午前3時は山小屋宿泊者以外が通行できないようにする他、1日当たりの登山者は4千人を上限とする。噴石などに備えたシェルターも設置する。

環境省によると、富士山の昨夏の開山期間（7月1日～9月10日）に8合目を通過した登山者は22万1322人で、新型コロナウイルス感染拡大前の2019年とほぼ同水準だった。富士山は13年に世界文化遺産に登録された際、諮問機関から登山者数を管理するよう求められており、対策が課題となっている。

山梨県が検討する対策

- 「吉田ルート」で2000円の通行料
- 5合目登山口にゲートを設けて午後4時～午前3時を通行止めに
- 1日当たりの登山者数上限は4000人

本県側「現時点 検討なし」

静岡県側の3登山道（富士宮、須走、御殿場）の通行料徴収については、静岡県富士山世界遺産課は1日、「現時点で本県側での導入は検討していない。議論の推移を見守る」と取材に答えた。静岡、山梨両県の有識者らでつくる専門委員会で入山料（保全協力金）の義務化の可否が検討されてきた経緯を踏まえ、「利用者負担についての検討を続ける」とした。

入山規制に関しては、山梨県は今夏の登山シーズンから吉田口で規制を実施する方針。静岡県は、山梨県側から本県側に弾丸登山者らが流入するのを抑制するため、夜間の入山を制限する実証実験を行う方向で検討している。

2/2

沼津の実川さん 富士登山2230回祝う

関係者集いパーティー

富士山頂に長年登り続け、「ミスター富士山」の愛称で知られる実川欣伸さん(80)＝沼津市＝が、「ふじさん」の語呂にちなんだ2230回目の登頂を達成したことを祝う記念パーティーが18日、同市内のホテルで開かれた。全国各地から関係者が集まり、偉業をたたえた。

実川さんは42歳から富士登山を始め、2023年9月10日に目標としていた2230回目の登頂を成し遂げた。1年間に248回登ったこともあるという。

パーティーには約100人が集まり、実川さんの登山記録を紹介。実川さんは感謝の言葉を述べ、「富士山のおかげでいろいろな出会いがあった。これからも歩けるうちは登りたい」と意欲を見せた。会場には能登半島地震の被災地支援のために募金箱を設置した。

パーティーを企画した代表発起人の一人、日本山岳会元会長の尾上昇さんは「健康を保つには目標を持って生きることが大切。今後も頑張ってほしい」と話した。

花束を受け取る実川さん（右）＝沼津市内

2/21

等高線　NO.175

「回想、2000 回登山・11」

2024/02/25

後藤隆徳

つづき

1980 年 1 月は、県連傘下の会が、光岳で遭難騒ぎがあった。年末の冬山は、北アルプスで展開が始まった。

12/29～1/1、NO.039、爺ヶ岳・東尾根～鹿島槍ヶ岳だった。パーティーは、CL・後藤隆徳(33)、SL・竹端節次（42)、食料・毛利哲也（47)、食料・杉澤康秀（31)、気象・土屋友茂（30)、会計・露木廣幸（31)、装備・村松正広（20)、装備・土佐　昇（33)、医療・小沢恵子（23)。平均年齢は、32 歳だった。

1980/12/29（晴）

年末の山は、69 年来の大雪で荒れに荒れて、遭難者が続出していた。前夜の天気図も大陸から-45 度の寒気団が南下していた。

大町のガソリンスタンドの屋根が雪の重みで落ちていた。爺ヶ岳スキー場手前で除雪がなくなり、今夜、宿泊する鹿島山荘まで暗い夜道をランプで 1 時間程歩いた。

爺ヶ岳・東尾根

12/30（晴）

鹿島山荘 6:00 発。荷物は、村松 28kg、後藤 27kg、露木 27kg、土佐 26kg、竹端 26kg、土屋 25kg、毛利 24kg、小沢 22kg、杉澤 20kg＋標識用竹だった。

12:45、標高 2000m の台地で幕営。当時、秋、事前に食料・燃料を一斗缶に入れて、「荷上げ」した。一斗缶を出すのに雪を 3m 掘った。缶は雪の重みでへこんでいた。

12/31（晴）

5:40 発。9:20、9 名全員、快晴の爺ヶ岳に立った。しかし、ここから、後藤、毛利、杉澤、村松の 4 名は、鹿島槍に向かった。12:10 鹿島槍着。ガスが濃くなり寒くすぐ下山。冷池山荘は 14:00 だった。

疲れた体にムチ打って、爺ヶ岳を上り返す。15:50BC 着。約 10 時間。疲れた。夜、「三

東尾根 BC

前列＝左から後藤、竹端
中列＝左から毛利、土屋、小沢、土佐
後列＝左から露木、杉澤、村松（香取）

島労山の歌」を作った。翌日も晴れ。今回は天候に恵まれた。快調に下山し、三島着 19:30 だった。

この山行は、私が初めて取り組んだ北アルプス冬山で、いまでも**「記憶・記録・記念」**に残る山となっている。

1980/12/31　**爺ヶ岳山頂（竹端撮影？）**

つづく

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・伊藤　　写真・後藤
山行番.	NO.2027
日　時	2024 年 01 月 27 日（土）無風・晴れ
山　域	富士山・二ッ塚（1929m）雪見ハイキング
コース	長泉 7:00-洞門発 8:12-幕岩歩道-幕岩 10:11-四辻 11:02-上塚（昼食）11:33～12:19-下塚 12:51-洞門 14:07-美人の湯-長泉「魚がし・流れ鮨」夕食会 16:30
標高差	洞門約 1280m～洞門 1929m＝約 649m
難易度	非常に困難　困難　やや困難　**レ普通**　やや易しい　易しい

お汁粉パーティーはサイコーだった

ど～が～	https://susono-reihou.babyblue.jp/00-37.mp4.mp4
参加者	後藤、加藤、井上、伊藤、斎藤＝5 名

富士山が、やっと雪化粧になり、「**雪見ハイキング**」が実施出来そうだった。ハイカーの私でも、毎年一回は、「**雪遊びがしたい！！**」

朝 7:00、長泉発。自宅から見る、富士山は真っ白。アイゼン持参だったが、果たして上れるか少し心配でした。

洞門

洞門に着くまで、周遊道は全く雪が無かったです。路肩には、すでに 2 台の車が止まっていました。8 時過ぎ、身支度をして、路肩裏から雪のない、バリを上って行った。

K さんが、座って足をさすっていた。右足首に 1.5ｃｍくらいの「**リンパの腫れ**」があって痛いとのこと。キツいスポーツをやっている人に出来る「**ネズミ**」というものの様です。K さんにとって「**戦士の勲章**」かなと思いました？？（正確に「**ネズミ**」は、関節に出来る骨の病気）

少し休んで、特に問題なく、再び上る。その内、チラホラ積雪があり、いつの間にか、雪の山道を歩いていました。すでに歩いた人の足跡と、一緒に別の形のものがありました。鹿の足跡とかで、まるで人間が足袋を履いて付けたような、こんなにキレイな爪痕は、初

幕岩

めて見ました。積雪が滑るので、G さんが**「ここで落ちたら初盆決定だ」**と、何処かの若い衆が、言っていた話に**「若い方は、面白いことをいう」**と思いながら、気を引き締めました。

10:00 頃、雪で真っ白な幕岩に着き小休憩です。K さんの差し入れのカステラの様なパンに、これまた丁度良い甘さの**「ブルーベリー・ジャム」**をたっぷり乗せて頂きました。

赤いジャムが雪にこぼれ、後から来た人が見て**「殺人事件か？」**と驚くかもねと笑いながら、再び歩き始めました。I さんの**「モヒカン刈り」**を動画に撮りました。

三辻まで来ました。ここでアイゼンを装着しました。滑らなくて良いですが、少し重いです。途中、男性 2 名に会った。宝永山まで行こうと思ったが、二ッ塚で帰って来たとの事でした。

上塚途中から宝永に上っている 3 名の人影が小さく見えた。私たちも必死に上り、その人たち勇気を貰い、頑張って上塚山頂に到着した。ここで昼食。K さんが重いナベを背負って上り、美味しいお汁粉、漬物、安倍川モチを振舞ってくれた。相変わらず、何でも美味しく、寒い所のお汁粉はサイコーでした。

山頂は天気が良く静かです。曇っていると寒いが、太陽が顔を出すと温かく、太陽の有難味を感じました。大きな黒い犬を連れた方が来て、しばらく休んでいました。犬がオヤツを美味しそうに頬張っていました。12:00 過ぎ昼食を終え、下塚に向かって下った。見ると下から上塚にガンガン上って来る方がいました。

お汁粉三昧

モヒカン刈り

下山を始めたら、アイゼンに不慣れな私は、アイゼンを内足に引っ掛けて、2～3m転げ落ちました。広い所だったから、良かったけど、ガケだったらと思うとゾッとしました。

テレビの山番組で、ガイドさんが**「アイゼンは、足を開いて爪を引っ掛けないようにしましょう」**の言葉を思い出し、未熟を痛感しました。

下塚着。上塚と差が 125mあることを知りました。遠方に目を凝らすと、雪面に指紋のようなキレイな模様があり**「これが雪紋か」**と感動しました。ここに来なければ、観られない景色でした。全員で**「レイホー」**と手足を挙げて記念写真を撮影しました。アイゼンは、安全地帯まで下って外しました。

先に清水市から来たと言う男女四人組が、お尻に敷くソリで滑っていました。が、ソリではなく、「ZIPFY」というプラスティック製ソリでした。体にヒモを付けて人間とジッフィーが一体になった様は、雪上カーリングのようでした。G さんが、**「次期オリンピック種目になるよ」**とお声がけしました。

ソリ遊び

私たちは、そのまま下り、時々、凍った雪道に**「オッと」**と滑りながら、下山しました。洞門には 14:30 頃着。美人の湯で温まり、気分もスッキリし、長泉町**「魚がし・流れ鮨」**でお腹を満たし帰りました。

下塚山頂

長泉麗峰山の会・	文・北村　写真・後藤、北村
山行番.	NO.2028
日　時	2024 年 2 月 3 日（土）無風快晴
山　域	八ヶ岳・横岳(2829m)杣添尾根
コース	海の口登山口(駐車場)6:00－貯水池 6:44－森林限界 9:25－三叉峰 10:30－奥の院（第一隊 11:02、第二隊 11:25)－三叉峰 11:45－展望デッキ（昼食）12:25～13:13—貯水池 14:24－海の口登山口(駐車場) 14:50－伊予ロッジ 15:10－たかねの湯/北杜市(入浴・夕飯)16:15～17:30－現地解散
標高差	標高差　S=1079m、登山口 1750m、山頂 2829m、上り返し=30m（累積標高差＝1109m)
難易度	非常に困難　困難　**レやや困難**　普通　やや易しい　易しい
冬山の絶景満喫･八ヶ岳ブルーの横岳	
ど～が～	https://susono-reihou.babyblue.jp/00-39mp4.mp4
参加者	CL 後藤（77）、加藤、山田、勝又（４名前泊）　井上、北村（２名当日）＝６名

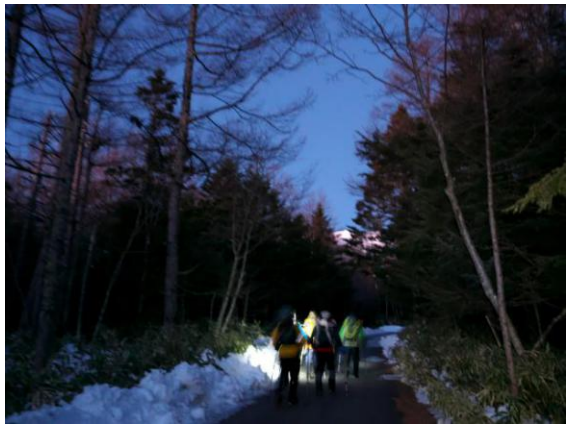
登山の魅力を知り週末に山に通うようになっても、冬山は危険で近づき難い世界だった。山岳ガイドと八ケ岳の雑談をしたとき、一枚の風景写真をスマホで見せてくれた。青空バックに鋭くそびえる真っ白い山、彼方には圧倒的存在感の富士山。**「寒いけど冬山登山の景色は最高なんだ」**。横岳の三叉峰から撮影した写真だった。

自身初の雪山登山は残雪期、そのガイドさんに杣添尾根から三叉峰へ連れて行ってもらった。その後も雪山、高山植物が咲く初夏と個人で 6 回登った大好きなコース。
今回は初めての厳冬期、長泉麗峰 冬山隊の一員として横岳登山に参加させていただいた。

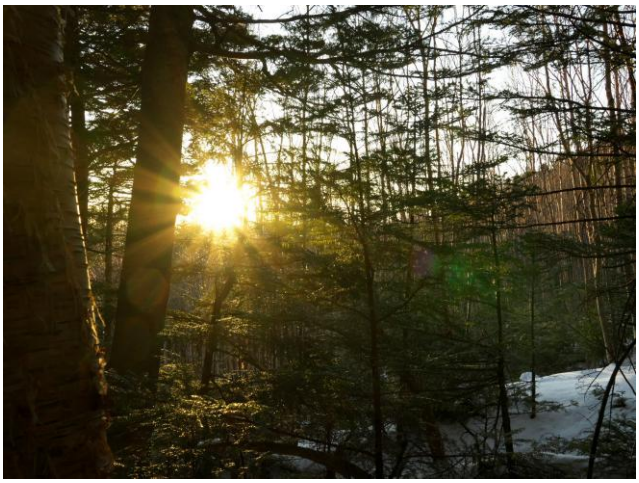
メンバーは 6 人。4 人は前泊、私と井上さんは仕事後の出発となり、登山日の朝に清里で合流した。早めに到着してコンビニで朝食を摂ったが、買い物だけで手が凍える寒さだった。集合時刻の 20 分前に合流場所に到着、荷積み中でバックドアが開いた後藤ＣＬの車がすぐ目に入った。山頂は強風予報、加藤さんが**「今日は寒さ厳しい登山になるよ」**と言った。心づもりして、後藤 CL 車で海の口登山口へと向かった。

空が明るくなり始めた 6 時過ぎに、ヘッドライトを点けて登山を開始した。木々で風が遮られるせいか、ほぼ無風の快晴だ。

道路の先に真っ白な横岳が見えてテンションが上がった。登山道は氷雪で早々にアイゼンを装着、別荘地と林道を過ぎて長い林帯の上りが始まった。変化のない単調な道だが歩きやすく朝の木漏れ日が心地良かった。
上り出すと朝の凍れを忘れるほど暖かくなった。


道路の先にほんのり横岳が見える

2時間弱歩いた場所で小休憩、後藤CLが美味しそうにお汁粉を食べる、私は真っ青な空に心躍りカメラを真上に向けた。しっかり朝食を食べたのが良かったのか、樹林帯は上った記憶がないほど短く感じた。富士山が見えてきた、樹木が低くなり高い青空も見えてきた。森林限界に到着して視界が開ける。



木漏れ日が心地良い

美味しそうにお汁粉を食べる後藤CL

空が高い(後藤)

森林限界は近いぜ　「レイ！」「ホー！」

待っていたのは、八ヶ岳ブルーの空に鋭くそびえる赤岳、後には南アルプス、富士山そして、これから上る横岳。**「何度見ても、素晴らしい景色!」**

仕事後に運転し寒い駐車場の仮眠でかけつけたご褒美を早速いただいた。

赤岳と南アルプス

標高 2570m地点の展望デッキは、雪で半分埋まっていた。東斜面は風が弱く雪が着きやすいと後藤 CL が教えてくれた。三叉峰に向かう登山道も雪たっぷり、雪質も軽く歩きやすかった。横岳まで残り標高差約 250m、単純に考えれば、地元 沼津アルプスの大嵐山＋α で楽勝と言いたいがそう甘くない厳しい上りだった。

動画を撮影する後藤 CL が一番後、井上さんが先頭で一列になり歩きだす。元気の良い井上さんが少しずつ離れていく。途中で自分が後に下がり皆の写真を撮りながら歩くが、その頃には井上さんの姿は点になっていた。さすが飛ばし屋、速い！(笑)

長泉麗峰 雪山帯　横岳を目指す(後藤)

最後尾に頼もしい後藤 CL と加藤さん

飛ばし屋 井上！　姿が点になる笑(後藤)

爽快！八ヶ岳ブルーの空に向かって進む

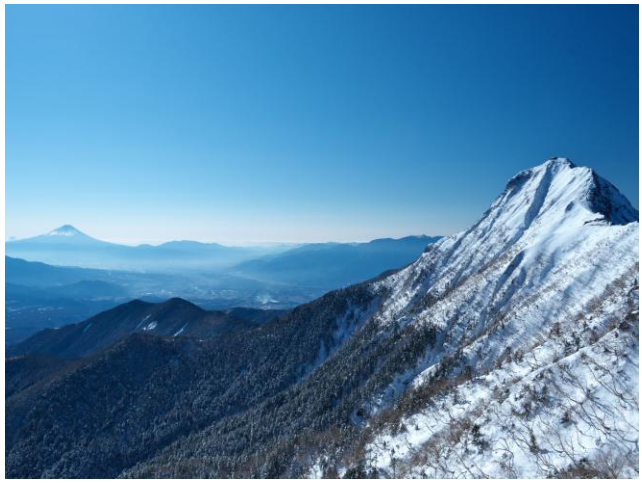
半分くらい上ったところで、後藤 CL と加藤さんが行動食を摂るとの事で、山田さん、勝又さん、北村の 3 人で先に山頂に向かった。

山田さんが先頭となり良いペースでリードしてくれるが、自分の身体は何故か重たく息が上がった。後からは勝又さんが表情を変える事もなく淡々とついてくる。

途中で写真を撮りながら、離れずには歩けたが、快晴の素晴らしい景色を楽しみながら上る余裕はなかった。

なんとか 2800mの縦走路に到着した。樹林帯とは逆に長くきつく感じた 250m だった。

優しい兄貴　勝又さん



赤岳と富士山の豪華コラボ

歩きがパワフル！山田さん

三叉峰に到着！

縦走路から西側の景色を見て再び感動した。特に霧ヶ峰、美ヶ原の先に並んだ北アルプスの山々は圧巻の光景。空気の透明度が高い。勝又さんとしばし絶景を眺めた。

井上さんと山田さんがいる三叉峰のピークに移動する。ここから見える赤岳～阿弥陀、南アルプスの景色がまた素晴らしい。360°どこを見ても語彙力を失う絶景だった。

絶景　北アルプスくっきり

三叉峰の上に井上さんと山田さん

三叉峰からの絶景 雪化粧した南八ヶ岳　（後方は南アルプス）

後藤 CL と加藤さんが上がってきた。井上さんと山田さんが**「レイ」「ホー」「レイ」ホー」**と声を出して合図、私は２人の姿にカメラを向けた。歩く姿はおしどり夫婦のようでほっこりした。２人の信頼関係の深さを感じた。

井上さん、勝又さん、山田さん、北村の４人で奥の院に向かう。依然として少し上るだけで息が上がる。軽い高山病だったようだ、思えば朝から水分を摂取していなかった。体調準備の反省点となった。15 分ほどで奥の院に登頂、目的を達成して三叉峰に戻る。

途中でハーネス装備を付けた玄人っぽい女性二人組とすれ違い挨拶した。山岳パトロールの方かな？と思ったが、後藤 CL から愛媛と埼玉の労山仲間と聞き親近感を感じた。

後藤 CL と加藤さん到着「レイ!」「ホー！」

第一隊　奥の院登頂

第二隊で奥の院に向かう後藤 CL と加藤さんにご一緒させていただいた。山頂に登山者が居たので３人の記念写真を撮ってもらった。私のリクエストで握手ポーズの１枚ゲットした。ただ、その写真を見て自分の服装が真っ黒で発見しにくい色だった事に気づいた。

目立つように赤いヤッケを着ているが、上着を脱いだときの事を忘れていた。この日の 2 つ目の反省点となった。

第二隊　奥の院登頂(後藤)

縦走路を進む　後藤 CL と加藤さん

三叉峰に戻ると、待っていた 3 人は軽食を済ませていた。昼食地点まで、もう一歩きある。何も食べていなかった私に山田さんが甘いパンを１個差し入れしてくれた。とっても美味くて力が蘇りました**「ありがとう、山田さん」**

斜面を下る前に、後藤 CL からピッケルとストック操作をコーチしていただいた。
必要なものを素早く取り出せるパッキング方法、ピッケルの素早い格納などもアドバイス頂いた。何故そうした方が良いのかも教えて頂き分かりやすかったです。練習します。

雪山技術アドバイスをいただく

展望デッキまで降りて富士山を見ながら皆で昼食を摂った。
「なんて贅沢な特等席なんだろう」
自分の足で歩いてきたものだけが座れる特等席は、貸し切りで手袋不要のポカポカ陽気。赤岳、白根三山、今日、全員登頂した横岳もくっきり。
ゆっくり食事を食べてセルフタイマーで全員の写真を撮ってもらった。
みんな笑顔で良い写真です。

貸し切り特等席でゆっくり昼食

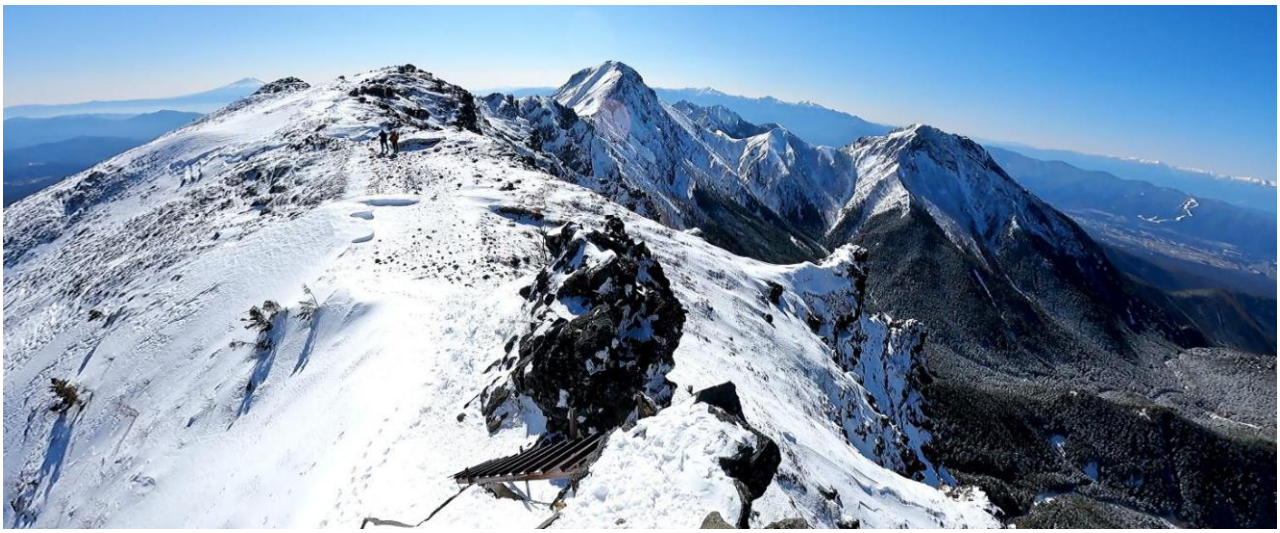
みんな良い笑顔で「レイ！」「ホー！」（後藤）

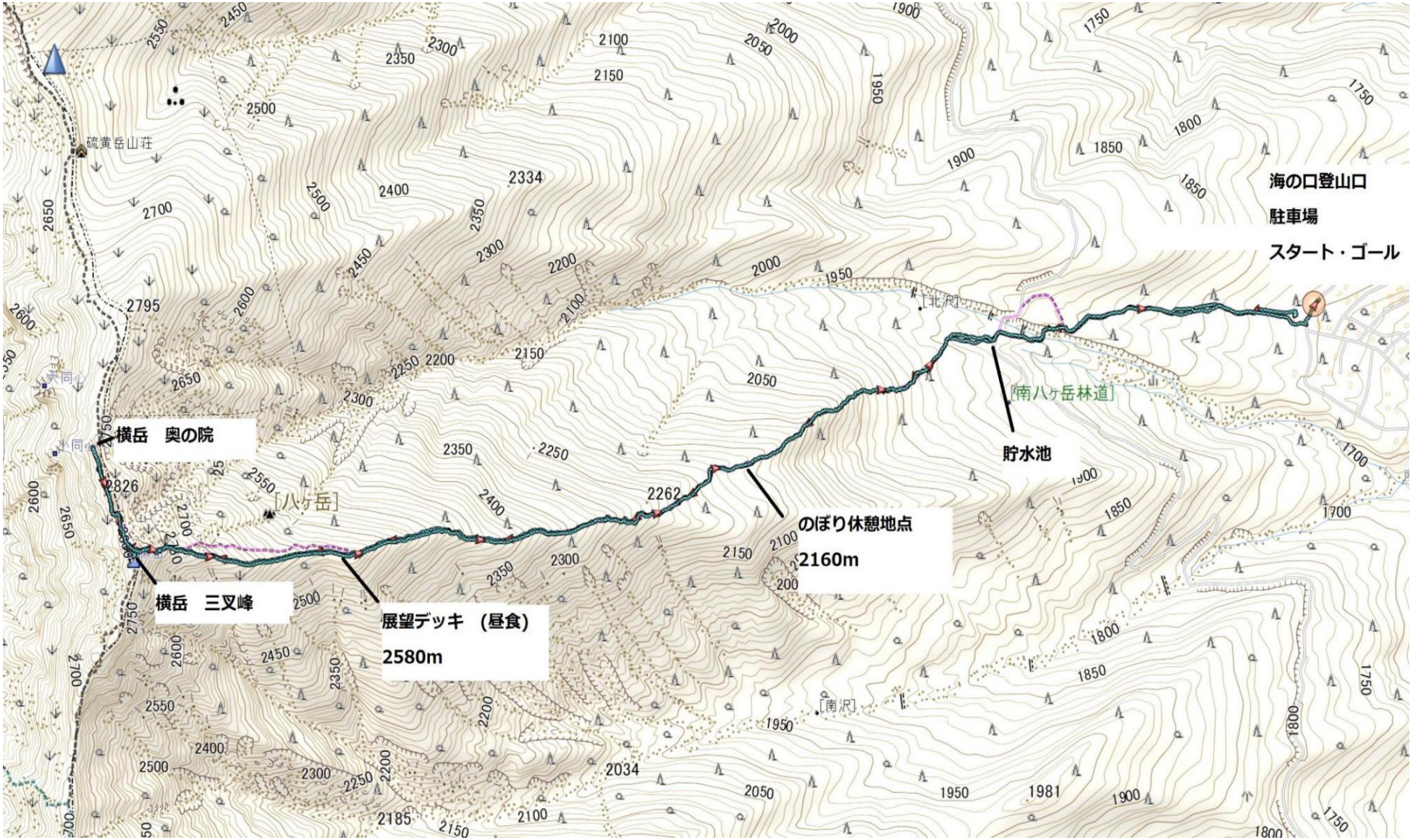
　名残惜しいが下山の時刻となり帰り仕度を始める。ここで、ちょっとしたトラブル発生。手袋が地面に落ちて斜面を 15mほど転げ落ちてしまった。ザックは落下させないよう用心しているが、ちょっとした油断で冬山の重要装備を落としてしまった。
　予備は持参していたもの緊張感にかけていた。この日３つの反省点となった（手袋は無事回収できました）。

　ご飯を食べたせいか、切れの悪かった身体はいつの間にか元に戻っていた。下山は速いペースで一気に登山口まで降りた。杣添川の小さな橋を渡ったところで坂道は、ほぼ終わりとなる。後藤 CL が橋の先で**「おつかれさま」**と一人ずつ出迎えてくれた。
リーダーの温かい一言が疲れた身体に復活の力を与えくれた。
　全員登頂してトラブルなく元気に下山した。帰り道は北杜市のたかねの湯で汗を流し、みんなで反省会を兼ねた夕食を食べて現地解散となった。

　強風予報に反して、ほぼ無風で暖かな一日。終始なごやかな雰囲気で楽しく１日を過ごすことができました。雪山技術アドバイスの実践、自己反省点は改善したいと思います。ご一緒させていただきありがとうございました。

山行スナップ　奥の院～三叉峰　後藤 CL と加藤さん



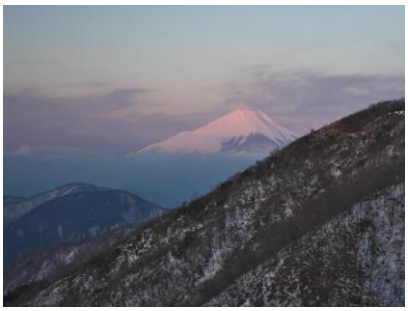

海の口登山口
駐車場
スタート・ゴール
貯水池
[南八ヶ岳林道]
[北沢]
のぼり休憩地点
2160m
展望デッキ　(昼食)
2580m
横岳　三叉峰
横岳　奥の院
[八ヶ岳]
[南沢]
硫黄岳山荘
2826
2795
2334
2262
2034
2185
1981

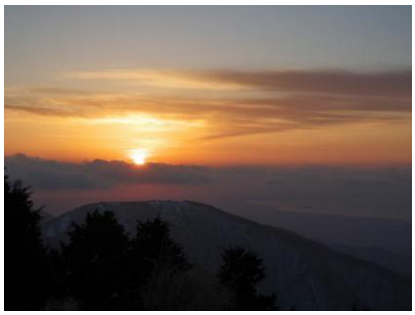
写真報告　2/10　平出和也・中島健郎講演会　静岡・あざれあ 13:30～16:00　午前・午後 300 名

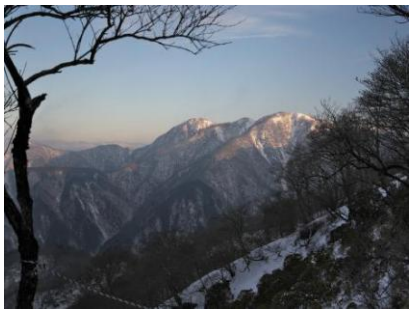
平出語録

・チョ・オユー（8188m）に上ったが、決められたコースで達成感はなかった
・決められた登山は魅力がない、他人がやらないことが魅力
・パキスタンで目的地を決めない山旅をやった
・山の魅力は、人間が成長して初めて分かる
・リスクのコントロールが大事だ
・山の困難度は、長くやっている量で見え方が違ってくる
・世界から求められカメラマンになりたかった
・道具・用具にあまり頼った登山はしない
・出来るか、出来ないか、現場に行って決めればイイ
・いい意味で、僕らの山を嫉妬して欲しい
・若い人は、僕らより力はあるが、想像力がない
・ポジティブの人が、好天を呼ぶ
・何処の山も、好天のデータを持っている
・冒険に必要なのは、未知のワクワク感
・今年の夏は、Ｋ２西壁に挑む・・・日本の宝だから、絶対、生きて帰れと握手で激励！！！

写真報告　02/10(土)　　大倉登山口ー塔ノ岳(1494m)ー丹沢山(1567m)ー蛭ケ岳(1673m)往復
天候＝晴れ、上部 くもり＋霧、丹沢山から先 風有り時々地吹雪　　北村(単独)


朝焼けの富士山


日の出


蛭が岳方面

雲が湧き富士山隠れてくる

ガスの丹沢山

主脈縦走路から蛭ケ岳へ

雪が深くなる(トレース有り)

蛭ケ岳登頂　寒かった

蛭ケ岳山荘でカレー(1,000 円)

ガスの中を下山

明るくなってきた

天気回復!

樹氷

丹沢山 みやま山荘

登山者で賑わう塔ノ岳

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・写真　後藤
山行番.	NO.2030
日　時	2024 年 02 月 14 日（水）晴・強風
山　域	浅間山・剣ヶ峰（2281m）ヒサシゴーロ尾根
コース	浅間温泉 6:00-尾根取り付き 6:30-標高点・1924m-・2101m-剣ヶ峰 10:36～11:00（昼食） 浅間温泉 13:36-浅間温泉-長泉町 20:30
標高差	浅間温泉約 1410m～剣ヶ峰 2281m＝約 871m
データ	長泉町～浅間温泉＝約 459km、有料道路（平日）往復 6600 円、温泉＝800 円

冬季限定･圧倒的存在の浅間山

ど～が～	https://susono-reihou.babyblue.jp/00-40mp4.mp4
参加者	後藤、加藤＝2 名

今冬、雪山は 4 回目。高齢で日帰りが難しいので前泊が多い。ところが、前泊も良く眠れない。いわく、**「枕が変わると眠れない」**というが、**「だったら、枕を持参したら」**と仰る。そういうものではない。

「枕が変わる」ことは、つまり**「環境が変わる」**で、**「単純に枕を持参しても、ダメなのだ」**若いころは、イッパイやって、バタンキューだった。

ところが、微妙な布団の寝心地・廊下の軋み・石油ストーブの騒音、などが気になるのだ。結局、**「高齢者はしゃ～ない」**で片づけられそう。逞しくなければ、**「登山は出来ない」**のだ。

浅間温泉・鳥居（下山後、撮影）

浅間温泉（下山後）

まだ暗い中、大きな鳥居を潜って、浅間温泉から出発。多くの方は、連合赤軍の**「浅間山荘事件」**と**「浅間温泉」**を混同しているが、浅間山荘は、全く別の場所。ま、紛らわしいは、紛らわしい。

悪天候方向だが、天気は良く下部は風がなかった。雪量もまあまあ。林道を進み、赤布がある、尾根取り付きでアイゼンを装着。

尾根はやや藪っぽかった。これでは、夏はイヤな尾根だ。最初からモーレツな上り。荷物は重く、足も重たく、前述の寝不足が応える。

ともかく、体調は最悪だが、上を見ないで頑張る。**「イチ・ニィ、レイ、ホー」**の調子で上る。ようやく、標高点・1924m に達した。といっても、顕著なピークがある訳ではないので、気持ちの切り替えにはならない。

頭上に漸く、牙山の端が見え、左手に**「トーミの頭」**が現われた。浅間山は、記録を紐解いたら、何と 1989 年 10 月に上っていた。当時、浅間山（2463m）まで上れたとあるが、この標高は、何処か不明。既に亡くなった、毛利・杉澤氏も一緒だった。

なかなか、浅間山が見えなかったが、ようやく頭が見えた。そして、山頂部に達すると、全容が伺えた。計画では、山頂から**「天狗の露地」**に下って、周回予定だった。しかし、山頂北は断崖で、とても下れる状態ではなかった。

ここは、潔く周回は諦め、往路を戻ることにした。腹はペコペコ。少し下って風を避け空腹を満たした。寒いし下りも厳しいので、beer は断念。

天気はまだ持っていた。ただ、トーミの頭に**「巻雲が漂い始めた」**。腰を上げて下る。時々、ズボッと落とし穴にハマる。午後は、雪が緩むからだ。

下から今日唯一の登山者に会った。単独でよく上ると思った。年配の方だった。聞けば、高崎から今朝来たという。後日、ショートメールをいただいた。お名前は、上野庄市さんで 72 歳だった。私の年齢を聞き驚いていた。

霧が晴れて山頂
火口の全容が…

◆長野・浅間山

▽10月7～9日▽静岡・三島勤労者山岳会＝毛利哲也(五五)、後藤隆徳(四三)、杉沢康秀(四〇)、田中裕吉(三九)、山口美恵子(三八)、水口和子(三六)

7日、雨のなか2台の車で出発し、22時半車坂峠へ。ここへ1台をデポし、峰の茶屋へ向かう。東大火山観測所裏にテントを張る。

8日、6時40分、抜けるような青空とツタウルシの見事な紅葉に誘われるように、観測所裏の登山道を登りだす。急斜面の砂れきの道だが、それほど歩きにくくはない。

振り返ると、はるか彼方に日光白根山、皇海山、武尊山、赤城山がはっきりと確認できる。気温は低く、風が冷たい。山頂からは盛んに蒸気が立ち上がっている。山肌にへばりつく枯れたオヤマソバの幾何学模様が面白い。ひとふんばりで浅間山（二四六三メートル）に立つ。

霧が出てきた。記念撮影のあと、毛利は茶屋から車を回収するため、きびすを返し、下っていく。われわれも山頂をあとにするが、その瞬間、霧がサーッとはれて、山頂火口の全容が見渡せ、思わず息をのむ。そこには奈落の底から荒々しく垂直に切り立った岩壁がそびえ、いたるところから蒸気が立ち上がる地獄のような光景があったからだ。

ここから湯の平高原へ下っていくと、カラマツとナナカマドなどの紅葉が広がっていく。足もとにはクロマメノキ（アサマブドウ）、コケモモ、シラタマノキが豊かに実を結んでいる。なんと素晴らしい景色だろうか。

Jバンドを登り、黒斑山へ向かう。右手にあす登る四阿（あずまや）山がすそ野を広げている。多くの登山者に会う。車坂峠から蛇骨岳の回遊コースを楽しんでいるようだ。寒いと思っていたら、雪が降ってきた。

黒斑山を下るころには雪が激しさを増したのでヤッケを着る。だれかが向こうでコールしている。先行者かなと、目をこらすと、毛利が迎えにきてくれたのだった。

車坂峠から鹿沢温泉へ向かい、冷えた体を温泉であたためた。いい山だった。

（後藤隆徳）

浅間山の中腹に憩う

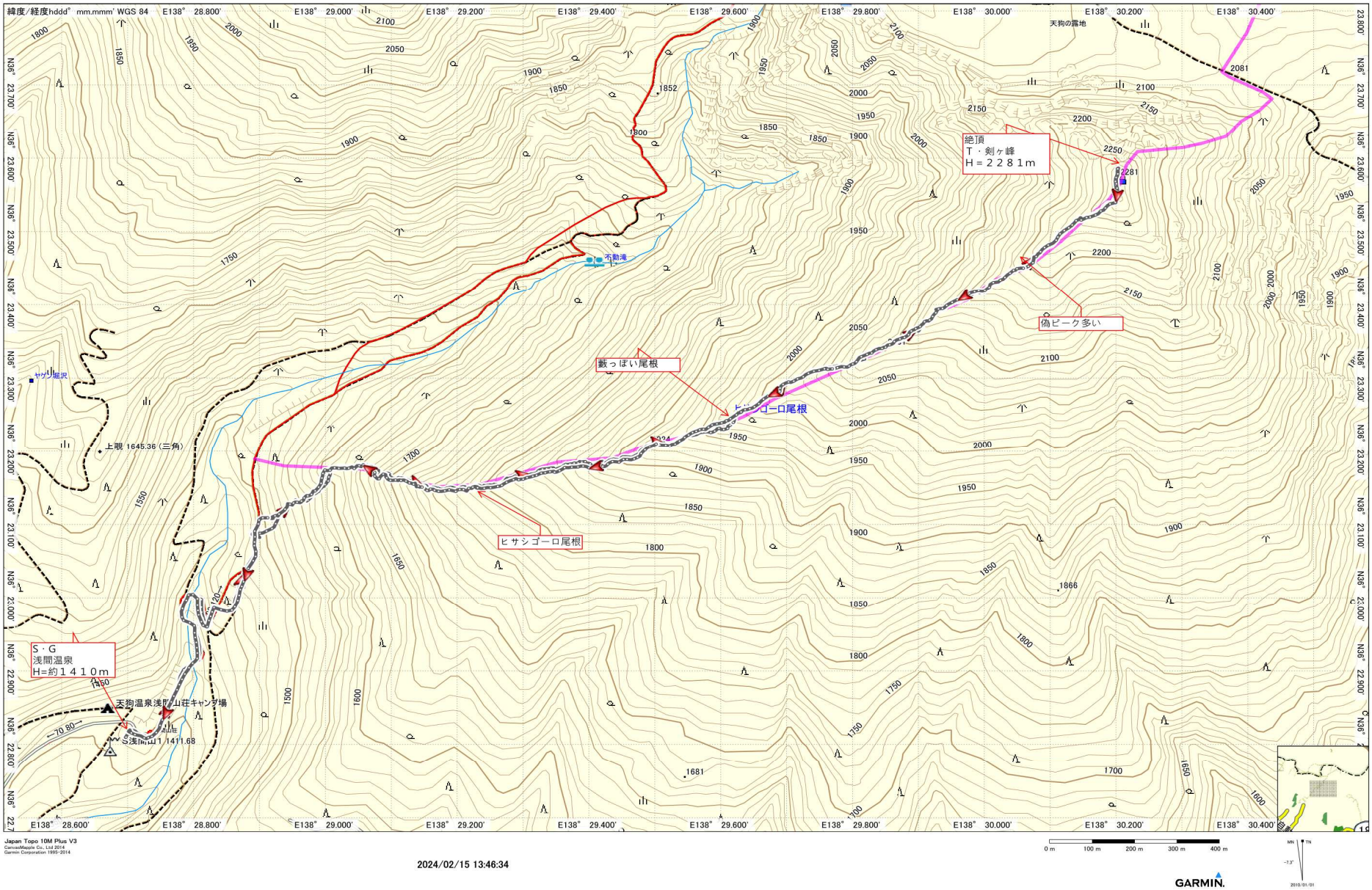
古の記録（浅間山の標高が分からない）

上野さん

浅間温泉の温泉・ソバ・熱燗

浅間温泉に入った。赤褐色の温泉だった。熱からず温からず。丁度良かった。入浴後は、「beer・熱燗・ソバ」だった。

火照った体に、冷たいソバが美味しかった。それに熱燗。これは堪らない。今回は、懸案だった、**「初見の浅間山・剣ヶ峰」**に満足だった。


緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
天狗の露地
絶頂
T・剣ヶ峰
H＝２２８１m
偽ピーク多い
不動滝
藪っぽい尾根
ヒサシゴーロ尾根
ヒサシゴーロ尾根
上覗 1645.36（三角）
S・G
浅間温泉
H=約１４１０m
天狗温泉浅間山荘キャンプ場
S浅間山1,141.68
Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014
2024/02/15 13:46:34
GARMIN.

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・写真　後藤
山行番.	NO.2031「会 30 周年記念山行」
日　時	2024 年 02 月 18 日（日）晴・微風
山　域	宇佐美・巣雲山（581m）
コース	三島駅 7:05-熱海駅-宇佐美駅発 8:00-みかんの花咲く丘コース-どっこい処 9:30-大丸山(トラバース近道)-巣雲山（昼食・集会）10:40～13:20-生仏の墓-宇佐美駅 15:10-三島「はなの舞」懇親会 16:30～20:00
標高差	宇佐美駅約 13m～巣雲山 581m＝約 568m＋70m
データ	三島駅～宇佐美駅＝510 円
気持ち良い山頂で、創立30周年を祝う	
ど～が～	https://susono-reihou.babyblue.jp/00-41mp4%20(2).mp4
参加者	伊豆ハイク＝野口、三島労山＝高良・土屋・沼津＝植松・遠藤、あさぎり＝斎藤・富永・村上　安倍っ子山の会＝増田　一般＝9 名 麗峰＝後藤・加藤・勝又・伊藤・山田敬・山田由・斎藤・北村・松永　会員＝9 名

人間には、運・不運がある。天気だけは、天皇もどうすることも出来ない。土曜日までハッキリしない天気だった。しかし、どうだろう、当日は晴れて高温だった。

金がない山岳会は、屋内の集会が出来ない。なら山でどうだ。しかし、天気が問題。根拠はないが、絶対好天を信じた。

宇佐美駅

サクラ満開（北村撮影）

宇佐美駅から出発。電車は、**「河津さくら」**見学者で混んでいた。朝、多かった雲もとれ青空が覗いた。そして暑い。駅で「ももひき」を脱いだ。

「みかんの花咲く丘」コースを上る。途中の桜は満開を過ぎて、葉が出ていた。道路脇には、まるまる太った**「フキノトウ」**が早くも出ていた。例によってK姉御がパッパッパと摘み取った。

「どっこい処」着。暑い。大汗を掻いた。丁度、沼津２名、あさぎり３名の仲間が追い

さくら満開や

付いた。

「どっこい処」上で、大丸山に上っていない参加者は、そちらに向かい、「とん汁隊」は、時間がないので、近道のトラバース道を選択した。

巣雲山に着いた。三島労山・高良、土屋、静岡安倍っ子山の会・増田も丁度、逆コースでやって来た。これで参加者は全員揃った。

山頂の休憩ドームでとん汁に点火し、**「北村酒店」**ご用達の beer を参加者に振舞った。

巣雲山

「北村酒店」ご用達

とん汁

具沢山

重い Beer をご苦労様。

物凄い量の**「とん汁」**だった。具が鍋から溢れそうだった。空腹にサイコーの味だった。食事を終えて、集会に移った。

司会は、加藤。ただ、始まりの**「黙とう」**を忘れてしまい、途中で行った。トップは、会長の私が、会の歴史を披露。次に東ブロの伊豆ハイク、三島労山、沼津労山、あさぎり

麗峰・後藤（北村撮影）

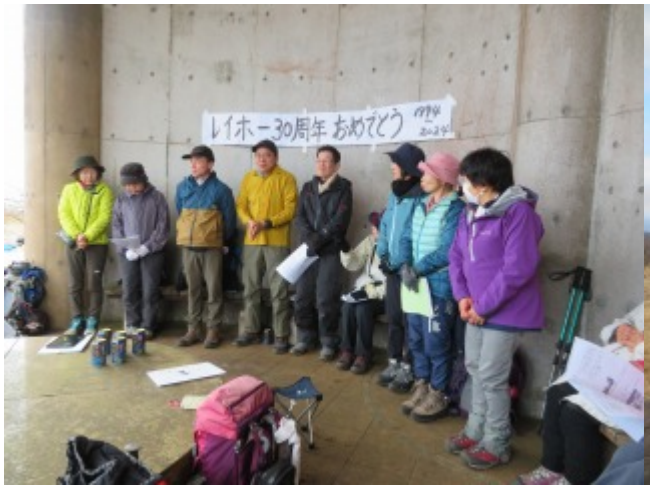
伊豆・野口（北村）

三島・高良、土屋（北村）

沼津・植松、遠藤

あさぎり・斎藤、富永、村上（北村）

安倍っ子・増田



麗峰参加者

司会者・加藤

山の会、静岡安倍っ子山の会、麗峰参加者が続いた。皆さんの熱い思いが、ヒシヒシと伝わり、嬉しい挨拶だった。有難う御座いました。

次は、車座になって山の歌。最初は**「岳人のうた」**、次は**「山の子のうた」**。この頃になると、かなりノリノリで、全員立って**「スクラム」**を組んで唄った。

次は、**「長泉麗峰の歌」**。これは冬の鹿島槍で作った歌だが、最後の部分は、自身の会の名称を入れて唄う形式に作ってある。最後は、**「静岡県連の歌」**で締めた。ただ、この山の歌、写真しかなく、動画の音声がないのは、いかにも残念だった。

スクラムで山の歌を合唱（北村）

下山（北村）

記念写真を収めて下山。三島、安倍っ子は、ミカンの花咲く丘コース、他は、生仏の墓コースだった。宇佐美から電車は、往路同様、**「河津さくら」**で、メチャメチャ混んでいた。

三島駅に帰着し、駅前の「はなの舞」で懇親会。13 名参加した。料理は 4000 円だったが、結構良く満足した。ただ、いささか飲み過ぎで、翌日は辛かったですね。（笑い）

今回の 30 周年行事、皆様には、大変お忙しい中、お集まりくださり感謝に堪えません。会を代表して、厚く御礼申し上げます。有難う御座いました。**（敬称略）**

三島「はなの舞」で懇親会（宴会全て北村）

山頂で記念写真「レイ・ホー」「レイ・ホー」「いいぞ・いいぞ」！！

日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
長泉裾野・麗峰山の会（愛称・れいほう山の会）

会報「れいほう」
2024/02/25
第 29 期・12 巻　　2024/3 月号　　NO.270
連絡先 静岡県駿東郡長泉町下土狩 1541-12 徳山荘
090-8956-9990 055-986-6075

HP　http://susono-reihou.babyblue.jp/
Mail　takanori_reihou8888@yahoo.co.jp

2024/02/18　巣雲山　30 周年記念登山・集会（北村）